

「第9回モバイル広告大賞」受賞作品決定
～ モバイル会員向け CRM やリアル運動型キャンペーンなど、多様な作品を選出～

株式会社ディーツー コミュニケーションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:藤田 明久以下 D2C)
が主催する「第9回モバイル広告大賞」の受賞作品が決定いたしました。

「モバイル広告大賞」は、世界でも最先端をいく、モバイル先進国「日本」が発信するモバイルに特化した
もっとも歴史のある広告賞として、今年で開催 9 回を迎えました。今回の部門の構成は、「マーケティング部
門」、「キャンペーン部門」、「クリエイティブ部門」の 3 部門として、広く作品を募集いたしました。賞の構成は、
部門ごとにもっとも優れた作品に授与される優秀賞と入賞として選出いたしました。

受賞作品は下記の通りです。

【グランプリ】 該当作品なし

マーケティング部門

- 【優秀賞】 iButterfly ～クーポン・エンタテインメント～ (広告会社:株式会社電通)
- 【入賞】 NAKAMA (アディダス ジャパン株式会社)
- 【入賞】 モバイル接客インターフェース「マイカウンセラー」 (株式会社ドクターシーラボ)
- 【入賞】 コーヒー美女とコーヒー豆知識 (ネスレ日本株式会社)
- 【入賞】 GATSBY MUSIC CONTEST 2009、学校へ GO!!、学生 CM 大賞 2009、
Styling Dance Contest 2009-2010 (株式会社マンガム)

キャンペーン部門

- 【優秀賞】 ヒルズポスト 2009 (郵便事業株式会社)
- 【入賞】 コスマジ探偵 MAKIDAI (コーセーコスメポート株式会社)
- 【入賞】 ルミネマンラリー (株式会社ルミネ)
- 【入賞】 佐々木希ちゃんが動く?! 立体アプリキャンペーン (株式会社ロッテ)

クリエイティブ部門

- 【優秀賞】 動く iPhone 新聞 (本田技研工業株式会社)
- 【入賞】 偽善者診断バナー (CROOZ 株式会社)
- 【入賞】 フィギュア回転ジャンプ (株式会社デジマース)
- 【入賞】 左上バナー (株式会社ダウンゴ)
- 【入賞】 ウルヴァリン: X-MEN ZERO (20 世紀フォックス映画)

作品の選考は、広告及びマーケティング分野、クリエイティブ分野における著名な7名の選考委員で構成された「モバイル広告大賞選考委員会」(別紙2参照)にて厳正なる審査を行いました。

< 嶋口 充輝選考委員長の講評 >

第1回目から審査会に参加し、モバイル広告の発展史を見る幸運に恵まれた。モバイル機器の技術革新、ユーザーのニーズや使用行動、さらに広告主の期待と要望が三位一体となって、モバイル広告の質と量が年を追うごとに飛躍的に発展してきたと感じている。とくに、モバイル広告による新しい価値創出のブレークスルーがおこると、それが共通のツールや仕組みとして伝播・普及し、そこから数年かけて内容の充実や方法の洗練化がなされていくという流れができてきているようだ。その意味では、今回の応募作品は、仕組みやツールの革新性というよりは、洗練性と内容充実に優れた作品が多かったという印象だ。今回もスマートフォンなどを活用した革新的作品もいくらか見られたが、今後、ハードの新たな技術的發展の上に、さらに革新的なモバイル広告のブレークスルーが生まれる予感がする。来年度に期待したい。

「第9回モバイル広告大賞」贈賞式は、7月15日(木)に東京・港区「ANA インターコンチネンタルホテル東京」にて実施いたします。

別紙1:「第9回モバイル広告大賞」開催概要

別紙2:「第9回モバイル広告大賞」選考委員会

別添:「第9回モバイル広告大賞」受賞作品一覧

[本件に関するお問い合わせ]

株式会社ディー・ツー コミュニケーションズ

広報宣伝部 高橋・小山・金

TEL: 03-6252-3108 FAX: 03-6252-3111

URL: www.d2c.co.jp Mail: press@d2c.co.jp

「第9回モバイル広告大賞」開催概要

「モバイル広告大賞」とは

「モバイル広告大賞」とは、モバイルを利用した広告コミュニケーション及びマーケティング活動の一層の普及を願い、2002年に創設され今年で9回目を数える、日本発のモバイル広告賞です。本広告賞では、携帯電話に実際に配信・掲載された広告を対象に、表現力・デザインに優れた作品や、モバイルを利用したマーケティング手法において優秀な事例を選出し、表彰いたします。

選考対象

2009年4月1日から2010年3月31日までにインターネット接続機能付き携帯電話に掲出された広告・マーケティング事例。

部門構成

<マーケティング部門>

企業が、中長期的な戦略を踏まえた、製品やサービス、ブランドなどのマーケティング・コミュニケーション全般を対象とし、モバイルを有効に活用し、ユーザとのコミュニケーションで新たな価値創造を築くなど、顕著な効果を上げたと考えられる作品を評価します。

<キャンペーン部門>

製品やサービス、ブランドのモバイルを活用した、期間を限定したキャンペーンを対象とし、コンテンツの企画性やキャンペーンサイトのデザイン性、ユーザビリティなどモバイル上におけるユーザコミュニケーションで顕著な効果を上げたと考えられる作品を評価します。

<クリエイティブ部門>

ピクチャー広告、パネル広告、テキスト広告、編集タイアップ広告など、モバイルサイト上に掲出された広告全般を対象とし、そのコピーや表現力、デザイン性を評価します。

主催

株式会社ディーター コミュニケーションズ

「第9回モバイル広告大賞」選考委員会

嶋口 充輝 (慶應義塾大学 名誉教授) 審査委員長

慶應義塾大学経済学部卒業後、フルブライト奨学生として渡米。慶應義塾大学、ミシガン州立大学の修士・博士課程修了後、経営学博士(Ph.D.)に。慶應義塾大学教授を経て、現在は同大名誉教授、法政大学経営大学院教授、日本マーケティング協会理事長。ルーベン大学(ベルギー)、ウエスタン・オンタリオ大学(カナダ)、モスクワ大学(ロシア)他の各大学院客員教授を歴任。主な著書:戦略的マーケティングの論理(誠文堂新光社)、統合マーケティング(日本経済新聞社)、顧客満足型マーケティングの構図(有斐閣)、営業の本質(共著)(有斐閣)、柔らかなマーケティングの論理(ダイヤモンド社)、仕組み革新の時代(共著)(有斐閣)、マーケティング・パラダイム(有斐閣)、ビューティフル・カンパニー(ソフトバンククリエイティブ)など。

秋山 具義 (デイリーフレッシュ株式会社 アートディレクター)

1966年東京秋葉原生まれ。1990年日本大学芸術学部卒。同年I&S入社。1999年デイリーフレッシュ設立。2007年デイリー・フレッシュ・ストアオープン。主な仕事に、PARCO「ふたり PARCO」キャンペーン、SHARP「エコロジー クラスでいきましょう。」キャンペーン、デコとも DX「KAT-TUN DX」キャンペーン、欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」ロゴ、キャラクターデザイン、立命館大学コミュニケーションマークデザインなど。

ホームページ：www.d-fresh.com/gugi/ blog「秋山具義のラーメンとデザイン」：<http://ameblo.jp/gugi>

小野 譲司(明治学院大学 経済学部 経営学科 准教授)

専門分野はマーケティング、サービス・マネジメント、顧客満足の理論と測定。最近では、企業と顧客の価値共創に関する先進事例のケーススタディ、日本版顧客満足度指数の開発と測定、e サービス品質の測定などの研究を行っている。主著として『仕組み革新の時代』(共著)有斐閣、『消費者・コミュニケーション戦略』(共著)有斐閣、『バリュー・プロフィット・チェーン』(共訳)日本経済新聞社、『顧客資産のマネジメント』(監訳)ダイヤモンド社の他、「マーケティング・ジャーナル」や「一橋ビジネスレビュー」などに論文を掲載している。慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了、博士(経営学)。早稲田大学アジア太平洋研究センター助手などを経て、現職。

恩蔵 直人 (早稲田大学 商学大学院 院長 兼 商学部長 教授)

早稲田大学商学部を卒業の後、同大学大学院商学研究科へ進学。早稲田大学商学部専任講師、同助教授を経て、1996年より教授。専攻:マーケティング。博士(商学)。主要業績:『コモディティ化市場のマーケティング論理』(有斐閣)、『モバイル・マーケティング』(共著、日本経済新聞出版社)、『顧客接点のマーケティング』(共著、千倉書房)、『日経文庫マーケティング』(日本経済新聞出版社)、『競争優位のブランド戦略』(日本経済新聞社)、『コトラー & ケラーのマーケティング・マネジメント』(監修、ピアソンエデュケーション)、『戦略的ブランド・マネジメント』(共訳、東急エージェンシー)ほか論文多数。

杉山 知之 (デジタルハリウッド大学 学長/工学博士)

1954年東京都生まれ。87年よりMITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年国際メディア研究財団・主任研究員、93年日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月 デジタルハリウッド設立。

2004年日本初の株式会社「デジタルハリウッド大学院」を開学。翌年、「デジタルハリウッド大学」を開学する。マルチメディア放送ビジネスフォーラム 代表、福岡コンテンツ産業拠点推進会議会長を務め、また「新日本様式」協議会、CG-ARTS協会、デジタルコンテンツ協会など多くの委員を歴任。99年度デジタルメディア協会 AMD アワード・功労賞受賞。

【著書】

「クール・ジャパン 世界が買いたがる日本」(祥伝社)2006.02

「クリエイター・スピリットとは何か？」(ちくまプリマー新書)最新刊 2007.04

田中 里沙 (株式会社宣伝会議 編集室長)

1966年生まれ。89年学習院大学卒業後、広告会社を経て93年株式会社宣伝会議入社。雑誌「宣伝会議」編集部配属。企業宣伝部、広告会社担当記者、海外 情報デスクなどを担当。95年副編集長を経て、96年より編集長、現在に至る。2003年より季刊誌「環境会議」「人間会議」編集長を兼任。2009年より月刊「広報会議」編集長を兼任。全国広報コンクール・審査員、広告電通賞テレビ部門・雑誌部門審査員、交通広告賞審査員、ふるさとCM大賞(朝日放送系 列)、政府の審議会委員などを務める。流行分析・情報系テレビ番組にコメンテーターとして出演。新聞にCM、テレビ番組についての連載を執筆。

宮崎 光弘 (株式会社アクシス 取締役 アート ディレクター/多摩美術大学情報デザイン学科 教授)

1957年東京生まれ。ファッション誌のアートディレクションに携わった後、1986年、株式会社アクシス入社。同社のCI、デザイン誌「AXIS」のアートディレクション、展覧会企画など、さまざまなプロジェクトを行う。現在は同社のデザイン部門「AXISdesign」のプロデューサー&ディレクターとして統括する。WEB デザインとしては、モリサワコーポレートサイト、原美術館WEBなどの開発を行う。

1999年、モリサワ「人間と文字」CD-ROMで国際マルチメディアグランプリ「F@imp99ni」金賞、「AMDアワード」ベストビジュアルデザイナー賞を受賞。2007年、モリサワコーポレートサイトで、2008 アック 04 グランプリ、東京インタラクティブアワード コーポレートサイト部門銅賞を受賞。

ホームページ : <http://www.axisinc.co.jp> ホームページ : <http://design.axisinc.co.jp>

「第9回モバイル広告大賞」受賞作品一覧

賞	部門	広告主	作品名	広告会社	制作会社
グランプリ	該当なし				
優秀賞	マーケティング部門		iButterfly ~クーポン・エンタテインメント~	株式会社電通	株式会社GClue
優秀賞	キャンペーン部門	郵便事業株式会社	ヒルズポスト2009	株式会社電通	GT INC./コパイロット/aircord inc./ユニバ /のっぽ /steneco/ロゴデザイン/ハット/LOUNGE INC.
優秀賞	クリエイティブ部門	本田技研工業株式会社	動くiPhone新聞	株式会社電通	株式会社ヤッパ
入賞	マーケティング部門	アディダス ジャパン株式会社	NAKAMA	株式会社アサツー ディ・ケイ	株式会社バスキール
入賞	マーケティング部門	株式会社ドクターシーラボ	モバイル接客インターフェース 「マイカウンセラー」		株式会社ファクトリアル
入賞	マーケティング部門	株式会社マンダム	GATSBY MUSIC CONTEST 2009、GATSBY学校へ GO!!、GATSBY学生CM大賞2009、GATSBY Styling Dance Contest 2009-2010		株式会社IMJモバイル/株式会社マリモレコース 株式会社クリエ/株式会社アノマリー
入賞	マーケティング部門	ネスレ日本株式会社	コーヒー美女とコーヒー豆知識	株式会社電通	株式会社モードツー
入賞	キャンペーン部門	コーセーコスメポート株式会社	コスマジ探偵 MAKIDAI	株式会社東急エージェンシー	ID.inc
入賞	キャンペーン部門	株式会社ルミネ	ルミネマンラリー	株式会社ジョイプロモーション	株式会社ジョイプロモーション
入賞	キャンペーン部門	株式会社ロッテ	佐々木希ちゃんが動く?! 立体アプリキャンペーン	株式会社電通	株式会社ディーター コミュニケーションズ 株式会社クレイテプス 株式会社テックファーム
入賞	クリエイティブ部門	CROOZ株式会社	偽善者診断バナー	株式会社ライブポリューション	株式会社ライブポリューション
入賞	クリエイティブ部門	株式会社ダウンゴ	左上バナー	株式会社ライブポリューション	株式会社ライブポリューション
入賞	クリエイティブ部門	株式会社デジマース	フィギュア回転ジャンプ	株式会社電通	株式会社デジマース
入賞	クリエイティブ部門	20世紀フォックス映画	ウルヴァリン：X-MEN ZERO	株式会社ライブドア	ジグノシステムジャパン株式会社